

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.141号> 2022年12月1日発行

ごあいさつ



刈谷市議会議員



冴えた夜空に煌めく星々、暖かな食卓で待つ人の想いが家路を急がせる初冬です。

サッカーワールドカップの日本、世界の強豪ドイツとの初戦に歴史的な逆転勝利、目標のベスト8突破が叶いますよう。

さて、ウクライナではロシアによるエネルギー施設への卑劣な攻撃によって、停電や

断水が続く寒さが深刻となる中、日本は越冬支援として3億6千万円の無償援助を決め、発電機や太陽光充電の照明器具等を供与し、重要な役割を果たしています。

その渦中、先月はASEAN・G20・APEC、3つの首脳会議を相次ぎ開催、気候変動や国際秩序、食糧問題等について話し合わせ、米中大国は世界における役割と責任を、日本も中国との関係安定化を共有できた事は大きな成果ですが、安全保障には注視が必要です。

一方、国内経済は生活必需品の値上げが相次ぎ個人消費が低迷しマイナス成長に。今臨時国会での第2次補正予算案が打開に向け慎重審議される事を願います。

刈谷市議会は11月30日から12月定例議会を開会。物価高騰を受けた子育て支援策の充実を含め、私自身防災やCO2排出削減に向けた質疑を行って参ります。

歳時記

12月 4日 (日) 人権週間 (→10日)	師走の毎日、カウントダウンが進む毎
7日 (水) 大雪	にやり残している仕事や家事が頭をかす
13日 (火) 正月事始め・煤払い	めながらも、どこかワクワクする思いも。
22日 (木) 冬至	光の饗宴や第九のシーズン、温かなマ
25日 (日) クリスマス	フラーにきっちりと首元を包んで、楽し
31日 (土) 大晦日・大祓い	みながら悠々と一年を締め括りましょう。



伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



閑静な住宅街、こじんまりとした公園の南に、その大きな岩はずっしりと佇んでいます。昭和末期頃、緑の田畑から姿を変えた地域…さて、ここはどこでしょう？



11/1発行の<No.140>の答えは、東境町のハイウェイオアシス入場口に沿う道路を挟んで、東側に隣接する駐車場を結ぶオアシスレイナーのブリッジ。紅葉も今が盛りとなっています。

"投資の歴史"への招待☆ (Chapter2)

この出資という形は瞬く間に世界中に広がりましたが、それまで一つの航海に出資されていたものが、貿易拠点を中心とした複数の船への出資でリスク分散も図れるようになり、更にオランダの東インド会社が、もしその事業が失敗しても出資額以上の支払いは無い、という責任の範囲を定めたことで、株主審査のための時間もかからず富裕層に限られていた株主は一般市民にも広がって行きました。

その後、株式会社は現在と近い形となり世界中で発展を遂げ、18世紀前半にはアムステルダムやパリ・ロンドンでも空前の株式ブームが起こります。十分な知識を持たぬまま株式投資を行う人々が増えると、その過熱感から株価暴落事件が。

イギリスの南海株式会社は「儲かるらしい」と聞きつけた投資家が 実態もないまま熱狂し、その他の株価まで押し上げた挙句 呆気なく崩壊、バブル景気の語源とも。万有引力の法則で有名なニュートンも多大な損害を被り、「天体の動向なら計算できるが、人間の狂気までは計算できなかった」と、人の欲望と盲目を語っています。

株式への不信感から株式会社は一時停滞しますが、その後産業革命が転機となり 鉄工・科学・機械製造業等の振興が、以前を反省しつつ期待し見守る姿に変えました。

12月の行事予定

11月30日 (水) ~12月2日 (金)	12月定例会本会議・予算審査特別委員
12月 6日 (火) ~9日 (金)	各種常任委員会
10日 (土)	ユタカ議員協議会研修会
15日 (木) ~16日 (金)	予算委員会・本会議
27日 (火)	自動車総連代表者のつどい

“まじめにコツコツ、即行動”
頑張ります!!



11月のフットワーク

スマートタウン「みなとアクルス」を視察してきました。

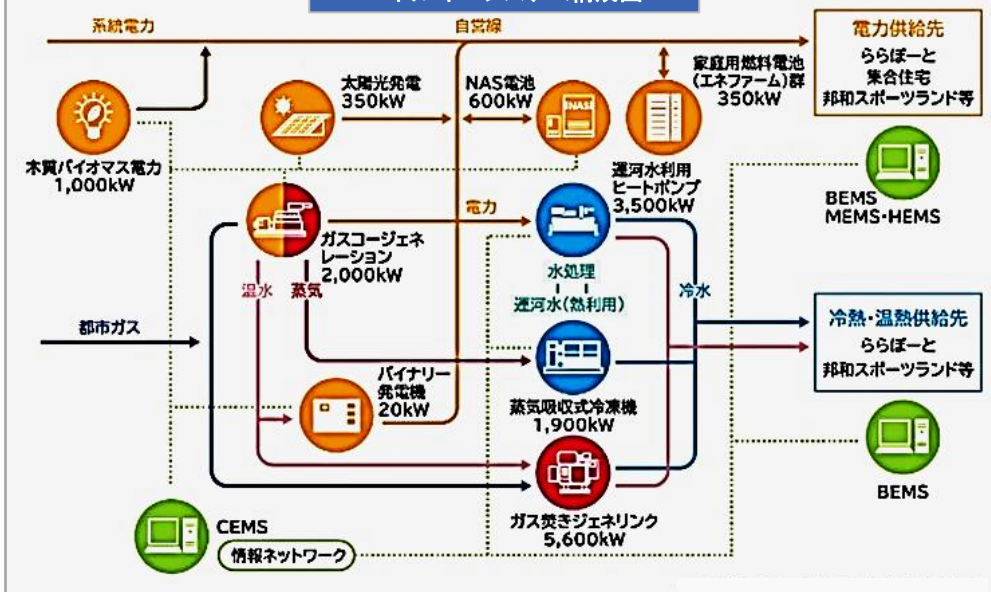
【日時】 11月7日(月) 13:00~15:00
 【場所】 名古屋市港区 東邦ガス㈱
 「みなとアクルス・エネルギーセンター」
 【参加者】 ユタクラブ (永井県議グループ)
 【視察テーマ】 環境と省エネによるエネルギー事業の取り組みについて

低炭素モデル地区として国に事業認定され、低炭素発電設備によってエリア内の施設に電力を供給し、脱炭素地域を目指している。

アクルス エネルギーセンター



エネルギーシステム構成図



省エネルギー率：40%
 CO2削減率：60%

刈谷市は、今年2月ゼロカーボンシティを宣言。2030年度CO2排出、2013年度比46%減の目標に向け、12月議会でも全庁上げた取り組みと官民連携による低炭素を促す施策を要望して参ります。

刈谷市職員環境行動計画 《エコアクション刈谷》 第7版 の紹介



【目的】 本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて策定されており、温室効果ガスの排出抑制を含め、市役所の事務および事業における環境負荷を軽減させることを目的に、職員一人ひとりが自らの行動に責任を持つとともに、各職場での環境配慮行動を日常業務に定着させ、全庁的な推進を図っていくもの。

【計画期間】 2021年度～2030年(10年間)

(1) 計画の目標

項目	2013年度(基準年)	2030年度(目標年)	削減率
温室効果ガス総排出量 (kg-CO2)	19,672,113	11,803,267	△40%

(2) 温室効果ガスの排出量削減に関する項目

項目	2013年度(基準年)	2030年度(目標年)	改善値
施設におけるエネルギー使用総量 (原油換算値・電気使用量含む)	9,488 kl	7,396 kl	△22%
施設におけるエネルギー使用効率 (原油換算値を単位面積等で除して算出)	100 (基準値)	78	22%改善
施設における電気使用量	28,182 kwh	23,581 kwh	△16%
公用車の燃料使用総量 (原油換算値)	105.7 kl	63.4 kl	△40%

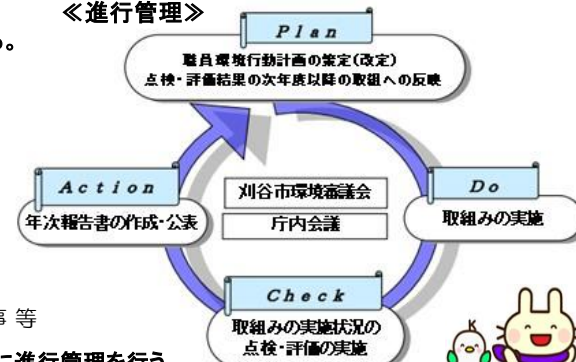
(3) その他、環境配慮行動に関する項目

項目	2013年度(基準年)	2030年度(目標年)	改善値
グリーン購入達成率 (数量ベース)	86.20%	96.20%	10%改善
用紙類の購入量	69,476 kg	62,528 kg	△10%
水の使用量	429,919 m ³	386,927 m ³	△10%

(4) 具体的な取り組み内容については、個々に職員の行動指針を定めている。

- ▶ 財やサービスの購入について
 公用車・OA機器類・一般物品
- ▶ 日常の事務・事業について
 公用車・OA機器類・照明設備
 紙類・エレベーター・空調設備
 水資源・ごみの排出等
- ▶ 財や建物の管理について
 上記の他、施設管理・緑地・工事等

《進行管理》



計画推進に当たっては、定期的・継続的に進行管理を行う。